

# 定例公安委員会の開催状況について

令和2年10月8日（木）に、第29回定例山形県公安委員会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

## 1 山形県警察Web会議システムの試行について

山形県警察Web会議システムの導入に向けた試行について報告があった。

### 委員のコメント

- 定例の会議等であれば、Web会議の形をとってもよいのではないか。
- 是非、有効活用してほしい。
- いろいろな状況を想定すると、こういうシステムを持っていることが必要になる。実際に使う前に何回か実験しておかないと、重要な会議には使えないので、繰り返し試行してほしい。

## 2 山形市農業協同組合及び山形農業協同組合との「地域安全活動に関する覚書」の締結について

防犯CSR活動の一環として、山形市農業協同組合及び山形農業協同組合において防犯カメラ設置を始めとした地域安全活動に関する協力が得られたことから、本年10月14日、「地域安全活動に関する覚書」を締結する旨の報告があった。

### 委員のコメント

- 山形県は果樹園での様々な被害が生じており、農業関係者との連携を図ることは重要だと思う。防犯カメラの普及促進を図ることも重要だ。
- 防犯カメラの整備はやはり重要であり、山形市にとどまらず県内全域に活動を広げてほしい。
- 覚書を締結していろいろな団体と協力して活動をしていくことは重要である。組合員に対しての啓蒙活動も大事だと思う。学校での子供たちに対しての安全活動も進めてほしい。

## 3 SNSを利用した未成年者誘拐事件の検挙について

SNSを利用した未成年者誘拐事件の検挙について報告があった。

### 委員のコメント

- 座間の事件もあり、単なる家出ではなく救出が必要な事件と判断したことは適切と思う。緻密な捜査活動を評価する。
- SNSの危険性を示す事件であり、こういう事件はこれからどんどん増える。捜査員を集中投入して短期間で検挙したことを評価する。
- こうした少女が家出扱いのままになっているケースは少なくないと思う。早い段階で大量に捜査員を投入した素早い対応を評価する。

#### 4 暴力団関係者を主犯とする特殊詐欺グループの検挙・解体等について

暴力団関係者を主犯とする特殊詐欺グループの検挙・解体、特殊詐欺の検挙状況等について報告があった。

##### 委員のコメント

- 留守番電話設定等の抑止対策を強力に進めているが、ツール対策は被害者等からの通報が前提になるので、怪しい電話が来たら警察にすぐ通報するよう啓発活動を一層強化してほしい。
- 突き上げ捜査で暴力団被疑者まで到達した事件は珍しいのではないか。新型コロナ禍で首都圏での捜査活動も困難と思うが、適切に検挙したことを評価する。
- 長期間にわたる捜査を粘り強く進めたことを評価したい。抑止対策を徹底するとともに、検挙力も高い状況になってほしい。

#### 5 「秋の交通安全県民運動」期間中の交通事故発生状況等について

本年9月21日から同年9月30日まで実施した「秋の交通安全県民運動」期間中の交通事故発生状況等について報告があった。

##### 委員のコメント

- 10日間とはいえ事故が減少したことは良い成果であった。白バイやパトカーの活動もよく見え、事故の抑止につながったものと思う。
- 新型コロナ禍で交通量が少ないことも事故減少の要因ではないか。ともあれ、死亡事故ゼロは評価できる。この傾向を今後も続けてほしい。
- 取締りをすることによって、交通安全の意識をそこに向けていくことができると思うので、交差点関連の取締りを重点的に実施してほしい。これまで街中では白バイを見かけることが少なかったが、街中で交通指導取締りを行うことは重要だと思う。

#### 6 酒田港内における不発弾の爆破処理に伴う対応について

本年10月8日に海上自衛隊が実施した、酒田港内における不発弾の爆破処理に伴う本県警察の対応について報告があった。

##### 委員のコメント

- 何かのきっかけで爆発する可能性はあった訳で、準備も含め大変な作業であったと思う。
- これまでは爆発の可能性がないもので排除すれば終わりだったが、今回は非常に珍しいケースであったと思う。
- いろいろな規制をして無事に爆破できてよかった。いろいろな協力体制をとれたことは、今後、有事の際に役立つと思う。